

発行：2025.8.8

編集：鳥取大学附属学校部

「ふぞく研究ラウンジ」は、鳥取大学附属校4校園が取り組んでいる教育研究の「今」をお知らせする広報紙です。地域の教育研究者の皆様とともに地域の教育について考えるための「対話」の場をつくりたいとの思いからスタートしました。

第16号では、附属学校園の「連携」というテーマでの取組を掲載しました。大学との連携、地域との連携、社会との連携について紹介します。また、12月発行予定の17号では附属学校園の本年度の取組を紹介する予定です。皆様からのご意見や感想をお聞かせください。

### 附属小学校



### 附属小学校 「キャリアに拓く」

#### 1 小学校での取組の基本的な考え方

国立大学法人「附属」という恵まれた環境下にある本校では、児童のキャリア形成を支援する教育課程を大学等と連携して実施しています。

鳥取大学の各部局・研究施設等、学習と関わりのある施設と連携し、発達段階に応じた内容で見学や体験活動を行っています。各施設で働く方々との出会いを通して生き方に触れ、自らの将来への夢や希望を見いだしたり、より明確に未来への展望を抱いたりすることをねらっています。

#### 2 大学の学部・学科等との連携

各学年の子供たちの興味・関心に適した課題設定を行い、大学の部局・施設等のできる体験や活動を事前相談して学びを構成しています。これらの経験は、大学での研究を身近に感じるものであり、「附属」という環境を十分に活用した特色ある学びの場となっています。

| 素材・テーマ                                                      | 大学の部局・施設等                             |
|-------------------------------------------------------------|---------------------------------------|
| ①年 鳥取大学の学部・施設                                               | ●地域学部(農学部)等                           |
| ②年 鳥取大学の学部・研究室・施設から選択<br>野菜栽培<br>大学構内探検                     | ●農学部 フィールドサイエンスセンター<br>●図書館、生協、学生会館 等 |
| ③年 「湖山池」に関する学習<br>生物、植物、水質 など                               | ●農学部<br>●湖山池関連施設                      |
| ④年 国際理解教育<br>留学生との交流                                        | ●教育支援・国際交流推進機構                        |
| ⑤年 「知的財産創造教育」<br>医学部での体験<br>※「金融リテラシー・アントレプレナーシップ教育」        | ●医学部附属病院<br>※みずほポシェット                 |
| ⑥年 「イノベーション」<br>プログラミング、ロボット など<br>※「金融リテラシー・アントレプレナーシップ教育」 | ●工学部<br>※みずほポシェット                     |

#### 3 「知的財産創造教育」と 「金融リテラシー・アントレプレナーシップ教育」

5年生の「知的財産創造教育」は、新たな価値を生み出す豊かな創造性を培い、よりよい生き方や社会をめざそうとする意欲や態度を育てることをねらっています。また、年4回程度、「発明楽」を中心としたアイデアの創造の仕方に触れることによって、生活や社会を豊かにする発想のヒントをつかんでいきます。

今年度は、5、6年生の「キャリアに拓く」と関連させ、新たに「金融リテラシー・アントレプレナーシップ教育」にも取り組みます。みずほポシェットと連携し、子供たちが将来の社会を生き抜く力として、「経済的に自立し、よりよい生活を送るためのお金に関する知識や判断力」を楽しく、無理なく学べるようにしています。



2年生：農学部での体験



3年生：湖山池での学習



4年生：留学生との交流



5年生：知財創造教育(医学部)



6年生：工学部での体験

## 附属中学校

### ● 学問探検 知の冒険 ●

附属中学校では、2年生を対象として、2010年度から「学問探検 知の冒険」という学びをキャリア教育の一環として実施しています。これは、生徒が、鳥取大学の工学部、農学部、地域学部等の研究室を訪問して、実際の大学での講義を受講する学習です。受講後は、それぞれが学んできた事を各グループで発表し合い、ディスカッションを行います。このディスカッションを通して、大学の講義から学んだことや自らが考えたことをまとめる処理力や相手に伝える説明力を高めることをねらいとしています。

発表後は、学習のまとめとして、一人一人が「知の冒険新聞」を作成します。当日の講義や講義後のディスカッションで学んだこと、感じたこと、分かったことを整理し新聞にまとめます。そして、「研究とは」をテーマに、それぞれが考察を加えます。完成した「知の冒険新聞」は冊子にしてまとめ、2年生やその保護者に配布しています。

この学びを通して、生徒達は、それぞれの講義に関する研究への興味や関心を持つだけでなく、研究に対する探究心や研究者の熱意と誇りを感じ取り、追究し続けることの喜びに気づくことで、自分の生き方や学びに対する姿勢を振り返る機会とすることができました。そして、自分の将来の夢や希望を持つことの大切さを改めて認識し、将来への展望や見通しをより明確に持つことができました。

以下、「学問探検 知の冒険」の講義の一例を紹介します。

#### 結晶はどのようにしてできるのか？ 工学部

結晶ができる仕組みの知識は高品質な結晶材料づくりに必要不可欠です。本授業では、身近な氷などの結晶を例に、そのできる仕組みを分子模型を使って学習します。



#### 金属材料の強度試験 工学部

自動車などに使用されている金属材料がどの程度の強度をもっているのかを調べる「引張試験」を行い、材料強度の考え方について学びます。



#### 植物の色素を取り出し、

#### 色の変化を観察してみよう 工学部

紫キャベツや朝顔、アジサイなどの身近な植物に含まれている色素を取り出し、酸性・アルカリ性などの水の性質による色の変化を調べます。



#### スマートフォン用アプリのプログラミング体験 工学部

Android スマートフォンのアプリ作りを体験します。AppInventor2 という Web プログラミングを用いて、プログラミングのエッセンスを学びます。



#### 牛の一生について 農学部

農学部附属フィールドサイエンスセンターにて牛の生体を観察するとともに、飼養管理について見学します。



#### きのこを作ろう 農学部

動物と植物の細胞の違いを知り、きのこ栽培の技術やきのこの持つ特質について理解を深めます。



#### 都市とリノベーション 地域学部

衰退した街区をどのように再生するのか？その手法の一つとして注目されている住民参加型リノベーションについて、フランス北部リール地域の事例をもとに学習します。



#### 視覚障害者の触察世界 地域学部

アイマスクをしたまま、小麦粉粘土でキャラクターを作ります。



#### 「知の冒険新聞 考察」より

- 研究とは、誰かを幸せにするために自分なりに一生懸命分らない事を調べ、明らかにすることだと思いました。
- 研究とは、疑問の答えを見つけ出すことだと思いました。生活する中で当たり前だと思っていることに疑問を持ち、何気ない事に気づく力を身につけていきたいと思います。

#### 令和6年度「知の冒険」講座一覧 (一部抜粋) 午前の講座

| 学科                 | 題目                          |
|--------------------|-----------------------------|
| 1 機械物理系学科          | 結晶はどのようにしてできるのか？            |
| 2 機械物理系学科          | 金属材料の強度試験                   |
| 3 電気情報系学科          | 光と電子と半導体のはなし・LEDと太陽電池のしくみ   |
| 4 電気情報系学科          | スマートフォン用のアプリのプロムラミング体験      |
| 5 化学バイオ系学科         | 光るタンパク質の観察と調査               |
| 6 化学バイオ系学科         | 植物の色素を取り出し、色の変化を観察してみよう     |
| 7 社会システム土木系学科      | いい川とは何かを考えてみよう              |
| 8 社会システム土木系学科      | 放射性廃棄物の地層処分について学ぼう          |
| 9 共同獣医学科・病態獣医学講座   | 病気になった動物の細胞を顕微鏡で観察してみよう     |
| 10 共同獣医学科・臨床獣医学講座  | 牛の一生について                    |
| 11 生命環境農学科・農芸化学コース | 化学生態学入門：虫は「香り」と「味」の世界で生きている |
| 12 菌類きのこ遺伝資源研究センター | きのこを作ろう                     |
| 13 地域学科地域創造コース     | 都市とリノベーション                  |
| 14 地域学科人間形成コース     | 視覚障害者の触察世界                  |
| 15 地域学科国際地域文化コース   | 『不思議の国のアリス』にみる言葉遊び          |

## 附属特別支援学校

## 鳥取大学

## 地域との連携



小学部「ふれあいピック」



小学部「植樹体験」

鳥取大学附属特別支援学校は、小学部、中学部、高等部本科、高等部専攻科と6歳から20歳まで学べる学校です。鳥取大学や地域と連携しながら学習しています。大学との連携は、自然・社会・人と豊かに関わり知への探求心を培い、主体的な学びの力を育てるねらいがあります。地域との連携は、その道のプロの方を外部講師として招き、本物に触れる体験をしています。また、地域の公民館や空港で販売や作品展示、近隣の関係機関に奉仕作業として出かけたりして学習で学んだことを広めています。学ぶ楽しさが余暇へ広がり、生涯学習へとつながっていくよう大学・地域と連携して学習を進めています。

**小学部**……全校行事である「ふれあいピック」で、鳥取大学ダンス部による迫力あるダンスを見た後、教えてもらいながら一緒に楽しく踊りました。地域との交流としては、昨年度、近隣の鳥取県森林組合の方々と一緒に

木を使ったおもちゃを制作して遊んだり、山に行って植樹を体験したりしました。

**中学部**……鳥取大学技術部とは、身近にあるものを使ったいろいろな実験を行って、科学の面白さを感じるおもしろ実験室、農学部附属フィールドサイエンスセンターとは、現場実習や米作り等の学習でお世話になっています。地域との連携では、「鳥取じまん展」で鳥取をテーマにして地域に出かけ調べたことをまとめ発表しています。昨年度のテーマは「鳥取砂丘」で、学習の成果をビジターセンターに展示しました。

**高等部本科**……鳥取大学との連携として、自立活動では、心の感情コントロールについて、学校設定教科「アート」では書・美の学習でお世話になっています。昨年度は鳥取城北高校とコラボして鳥取コナン空港で「書道パフォーマンス」を行いました。また、地域資源の活用として湖山西公民館で作業製品を販売したり、川柳作品を応募したりして学習したことを発信して学びを広げています。



高等部専攻科  
「鳥取大学で学ぶ～音楽～」

**高等部専攻科**……「教養」「くらし」「余暇」の学習で、大学に出かけたり、その道のプロの方を講師として招いたりして、生涯学び続けることの楽しさへとつながっています。また、学んだことを他学部伝える機会をもつことで他学部からは憧れの対象となり、そのことが学生の達成感や、次への学びの意欲につながっています。



中学部「鳥取じまん展」



中学部「米づくり」



高等部本科「公民館での販売」



高等部本科  
「書道パフォーマンス～城北高校とコラボ～」



高等部専攻科  
「スロに学ぶ～おしゃれ講座～」

## 附属幼稚園

## 保育ラウンジ【大学との連携】

鳥取大学附属幼稚園では、日常的に大学と連携を図りながら、鳥取大学附属幼稚園ならではの経験をすることができます。

### 国際理解の芽生え

毎年、鳥取大学の留学生との交流会を行っています。留学生に自国の紹介をしてもらったり、各クラスで留学生の国の遊びや日本の遊びと一緒に楽しんだりします。遊び等を通して、子どもたちは多様な価値観や、文化などに触れる機会になっています。



大学教員とのふれ合い

### 大学教員による 専門分野に触れる機会

毎年、大学教員と連携し、園児が学問の面白さに触れる機会をもっています。今年度は、10月に農学部唐澤重考先生による園庭や松林にいる生き物探し、11月には工学部増井敏行先生によるおもしろ化学実験を予定しています。また、未就園児とその保護者が参加する「親子ぴよんぴよんサークル」(年9回実施)でも、大学教員を講師に迎え、講義や演習を行います。10月には、地域学部木野彩子先生によるリズム遊び、1月には地域学部住川英明先生による書き初め・伝承あそびを予定しています。(在園児も一緒に参加します。)



国際交流



教育実習

### 学生の教育実習・研究への協力

教育実習の場として多くの学生が訪れ、子どもたちの様子を観察したり、一緒に遊んだりして学びます。その中で、学生と園児とのあたたかい交流が見られます。また、研究室の学生(大学院生や内地留学生も含む)が講義で学んだことを、実際の現場で確認するための実習や、卒業の研究テーマに沿った保育観察等も行っています。毎日実施している「預かり保育」や園行事(運動会)にも、学生ボランティアとして参加しています。

### 大学施設等の利用

毎年、鳥取大学農学部附属フィールドサイエンスセンターを利用しています。大学教職員の指導のもと、5月には、年長児がサツマイモの苗植えを、10月には全園児でいもほりをします。収穫したサツマイモは、園庭で焼きいもをしたり、家庭へ持ち帰ったりして、おいしくいただきます。



いもほり

### 池畔好日

■「ふぞく研究ラウンジ」第16号をお届けします。本号では大学や地域との連携の取組を紹介しました。■幼稚園では、大学との連携として、留学生との遊び等を通して多様な文化に触れる交流会、工学部や農学部の教員による楽しい実験や農場での栽培・収穫体験を行っています。未就園児と保護者が参加する「親子ぴよんぴよんサークル」でも、大学教員による「遊びを通した学び」を体験していただいています。■小学校では、大学の部局・施設や4学部、鳥大生協のご協力のもと全学年で「キャリアに拓く」を実施し、多様な体験活動や教員・職員方との出会いを通して、子供たちが将来への夢や希望をもち、キャリアを切り拓いていく意識をもつことにつながる取組をしています。■中学校では、2年生

の「学問探検 知の冒険」で大学教員による講義を受け、学んだことをまとめるとともに、各自が考察を加えて「知の冒険新聞」を作成します。この過程を通して、得られた知識・情報と自分の考えを整理して他の人に伝える力を養い、また自分の将来の夢や希望を再認識する機会としています。■特別支援学校では、鳥大の学生との交流や教職員による実験・実習による学び、地域からはプロの方をお招きして本物体験をしています。また、高等部本科は城北高校書道部との書道パフォーマンスを通して、同世代とのつながりを深めています。■大学や地域との連携をさらに深め、将来にわたる学びにつなげていきたいと思います。皆様には、読後の感想をお聞かせいただければ幸いです。